

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学年	1学年	担当教員	阿部/高橋	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	102単位時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
<b>科目概要と科目到達目標</b> TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				<b>授業の進め方・学習方法・課題</b> リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため 毎日単語チェックを行う。 また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ 問題を解くように促す。 対面授業と遠隔授業の併用実施		
<b>評価方法・成績評価基準</b> ①定期試験50% ②TOEIC公開テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%  <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
<b>実務経験教員の経歴</b>				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	1学年	担当教員	坂上/小林/寺田	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	102単位時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策を定期的に行う				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検準2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
				31	英検準2級対策P146～156 解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	1学年	担当教員	小林 / 寺田	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級	時間数	102単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検2級総合対策			7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156 解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	PART1 基礎編「助詞」	文法の基礎の復習・強化
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	PART1 基礎編「副詞」	文法の基礎の復習・強化
科目名	日本語検定対策(N1・N2・N3)	時間数	136単位時間	3	PART1 基礎編「接続詞」	文法の基礎の復習・強化
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	PART1 基礎編「敬語」	文法の基礎の復習・強化
使用テキスト名	日本語能力試験 N2文法 必修パターン			5	「N3文型」の復習	文法の基礎の復習・強化
補助教材	全科目攻略！ JLPT日本語能力試験ベスト総合問題集 パワーポイント スライド			6	「N3文型」の復習	文法の基礎の復習・強化
科目概要と科目到達目標				7	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
7月 日本語能力試験3級合格				8	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
12月 日本語能力試験2級合格				9	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
授業の進め方・学習方法・課題				10	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
①文法の用法について講義を行う ②練習問題を解く				11	振り返り	試験に向けた総合力の強化
				12	振り返り	試験に向けた総合力の強化
				13	テスト	知識定着の確認
				14	PART2 対策編「N2文型」の整理	問題パターンの理解・解法の攻略
				15	PART2 対策編「N2文型」の整理	問題パターンの理解・解法の攻略
				16	PART2 対策編「N2文型」の整理	問題パターンの理解・解法の攻略
				17	PART2 対策編「言葉をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
				18	PART2 対策編「言葉をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
				19	PART2 対策編「文をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
				20	PART2 対策編「文をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
評価方法・成績評価基準				21	PART2 対策編「実践練習 問題7」	問題パターンの理解・解法の攻略
①定期試験40% ②JLPT基準級の合格30% ③授業への積極的参加20% ④提出物10%				22	PART2 対策編「実践練習 問題8」	問題パターンの理解・解法の攻略
【成績評価基準】				23	PART2 対策編「実践練習 問題9」	問題パターンの理解・解法の攻略
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	PART3 模擬試験	実力の確認
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
実務経験教員の経歴				29	テスト	知識定着の確認
				30	総合問題集	総合力強化
				31	総合問題集	総合力強化
				32	総合問題集	総合力強化
				33	総合問題集	総合力強化
				34	総合問題集	総合力強化

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	第1課 依頼をする	依頼の表現を覚える
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	第1課 依頼を受ける	依頼の表現を覚える
科目名	ビジネス日本語 I (待遇表現)	時間数	34単位時間	3	第1課 依頼を断る	依頼の表現を覚える
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	第2課 アポイントメントの申し入れ①	アポイントの取り方について理解する
使用テキスト名	外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級			5	第2課 アポイントメントの申し入れ②	アポイントの取り方について理解する
補助教材	パワーポイント スライド			6	第2課 アポイントメントの確認	アポイントの確認の仕方について理解する
科目概要と科目到達目標				7	第3課 謝罪をする	謝る時の表現を覚える
				8	第3課 謝罪をする+今後どうするか伝える	謝る時の表現を覚える
ビジネス場面における実践的なコミュニケーション能力を高める				9	第3課 謝罪を受ける	謝る時の表現を覚える
				10	第4課 感謝する①	感謝する時の表現を覚える
				11	第4課 感謝する②	感謝する時の表現を覚える
				12	第4課 感謝を受ける	感謝する時の表現を覚える
				13	第5課 自己紹介	初対面の人と会った時の自己紹介の表現を覚える
				14	第5課 他社紹介	他者を紹介する時の表現を覚える
授業の進め方・学習方法・課題				15	第5課 雑談	雑談をする時の表現を使う
課のテーマに関する文章を読み、新入社員が出会う具体的なケースを想定して自分の意見をまとめる。 課のテーマの使用する表現について理解する 会話例を見ながら会話例を理解し、会話表現を滑らかに言えるまで練習する 複数の表現を組み合わせたり、長い会話を練習したりして、滑らかに言えるまで練習する。				16	第6課 社内での日常の挨拶	挨拶の表現を覚える
				17	第6課 社外の人との挨拶	挨拶の表現を覚える
				18	第6課 移動の場面での挨拶	挨拶の表現を覚える
				19	第7課 誘う	誰かを誘う時の表現を覚える
				20	第7課 誘いを受ける	誘いを受ける時の表現を覚える
評価方法・成績評価基準				21	第7課 誘いを断る	誘いを断る時の表現を覚える
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	第8課 指示を受ける	指示を受けた時の表現を覚える
				23	第8課 指示について質問する	指示に対する質問の表現を覚える
				24	第8課 5W1Hで足りない情報を質問する	5W1Hを意識して性格にメモを取る
				25	第9課 どの業務について報告するか伝える	報告をする時の表現を覚える
				26	第9課 報告の前置き	報告をする時の表現を覚える
				27	第9課 悪い報告の前置き	報告をする時の表現を覚える
				28	第10課 申し出をする	申し出る時の表現を覚える
				29	第10課 申し出を受ける	申し出を受ける時の表現を覚える
				30	第10課 申し出を断る	申し出を断る時の表現を覚える
				31	第11課 許可を求める	許可を求める時の表現を覚える
実務経験教員の経歴				32	第11課 許可する	許可するときの表現を覚える
				33	第11課 許可しない	許可しないときの表現を覚える
				34	テスト	

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	第1課 依頼をする ロールプレイ	依頼の表現を身につける
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	第1課 依頼を受ける ロールプレイ	依頼の表現を身につける
科目名	ビジネス日本語 I (待遇演習)	時間数	34単位時間	3	第1課 依頼を断る ロールプレイ	依頼の表現を身につける
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	第2課 アポイントメントの申し入れ①ロールプレイ	アポイントの取り方を身につける
使用テキスト名	外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級			5	第2課 アポイントメントの申し入れ②ロールプレイ	アポイントの取り方を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			6	第2課 アポイントメントの確認 ロールプレイ	アポイントの確認の仕方を身につける
科目概要と科目到達目標 より実践的なコミュニケーション能力を身につける				7	第3課 謝罪をする ロールプレイ	相手や場面によって、謝る時の表現を使い分ける
				8	第3課 謝罪をする+今後どうするか伝える ロールプレイ	相手や場面によって、謝る時の表現を使い分ける
授業の進め方・学習方法・課題 ロールカードに提示されている状況を見て、「会話の流れ」に沿った会話を組み立てる。 「会話表現」で学んだ表現を適切に使って会話をする。 ロールカードは、2人(場合によっては3人)で練習する。 相手のカードは見なくて、自分の役割のカードだけ見て、状況に合った会話を臨機応変に組み立てる。 自分の意見をまとめて、周囲の人と話し合う。				9	第3課 謝罪を受ける ロールプレイ	相手や場面によって、謝る時の表現を使い分ける
				10	第4課 感謝する① ロールプレイ	場面によって感謝する時の表現を使い分ける
				11	第4課 感謝する② ロールプレイ	場面によって感謝する時の表現を使い分ける
				12	第4課 感謝を受ける ロールプレイ	感謝された時に適切な表現を使って受け答える
				13	第5課 自己紹介 ロールプレイ	初対面の人と会った時の自己紹介の表現を覚える
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				14	第5課 他社紹介 ロールプレイ	他者を紹介する時の表現を覚える
				15	第5課 雑談 ロールプレイ	雑談をする時の表現を使って、適切な話題で話す
				16	第6課 社内での日常の挨拶 ロールプレイ	場面に合った適切な挨拶ができる
				17	第6課 社外の人との挨拶 ロールプレイ	場面に合った適切な挨拶ができる
				18	第6課 移動の場面での挨拶 ロールプレイ	場面に合った適切な挨拶ができる
				19	第7課 誘う ロールプレイ	会話の流れを意識して誰かを誘うことができる
				20	第7課 誘いを受ける ロールプレイ	誘いを受ける時の表現を滑らかに言える
				21	第7課 誘いを断る ロールプレイ	誘いを断る時の表現を滑らかに言える
				22	第8課 指示を受ける ロールプレイ	指示を受けた時の表現を覚える
				23	第8課 指示について質問する ロールプレイ	指示に対する質問の表現を覚える
実務経験教員の経歴				24	第8課 5W1Hで足りない情報を質問する ロールプレイ	5W1Hを意識して性格にメモを取る
				25	第9課 どの業務について報告するか伝える ロールプレイ	会話の流れを意識して、上司に報告する
				26	第9課 報告の前置き ロールプレイ	会話の流れを意識して、上司に報告する
				27	第9課 悪い報告の前置き ロールプレイ	会話の流れを意識して、上司に報告する
				28	第10課 申し出をする ロールプレイ	表現を覚えて滑らかに言う
				29	第10課 申し出を受ける ロールプレイ	表現を覚えて滑らかに言う
				30	第10課 申し出を断る ロールプレイ	表現を覚えて滑らかに言う
				31	第11課 許可を求める	許可を求める時の表現を覚える
				32	第11課 許可する	取り次ぎの頼み方を覚える
				33	第11課 許可しない	敬語表現を覚える
				34	テスト	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	問題24～27「個人情報」聴読解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	問題28～30「顧客満足度調査」聴解・聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
学年	1学年	担当教員	丹田充	3	問題31～33「出張」聴読解・聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
科目名	BJTビジネス日本語対策Ⅰ	時間数	68単位時間	4	問題34～35「販売員増員の提案」聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	問題36～37「パッケージ案」聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
使用テキスト名	ビジネス日本語オール・イン・ワン/BJTビジネス日本語能力テスト			6	問題38～42「インタビュー」聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
補助教材	PDF教材			7	問題43～44「日程調整」聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
科目概要と科目到達目標				8	問題45～46「衣料品業界」聴解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
ビジネス日本語力(日本語能力・コミュニケーション能力)の向上 N1クラスーJ1取得、N2クラスーJ2取得、N3クラスーJ3取得				9	問題47～48「展示会」読解・聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
				10	問題49～50「業務フローチャート」聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
				11	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第1部 セクション1・2	ビジネス日本語力の向上
				12	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第1部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				13	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第1部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				14	テスト	知識定着の確認
授業の進め方・学習方法・課題				15	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション1	ビジネス日本語力の向上
①問題を解く→②スクリプトの内容・語彙の穴埋め→③解答を確認→④内容を全体でもう一度確認する				16	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション1	ビジネス日本語力の向上
				17	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				18	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				19	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				20	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
評価方法・成績評価基準				21	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
①定期試験40% ②BJT基準級の合格30% ③授業への積極的参加20% ④提出物10%				22	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
【成績評価基準】				23	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	BJT実力養成問題集 読解 セクション1	ビジネス日本語力の向上
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	BJT実力養成問題集 読解 セクション1	ビジネス日本語力の向上
実務経験教員の経歴				29	テスト	知識定着の確認
				30	BJT実力養成問題集 読解 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				31	BJT実力養成問題集 読解 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				32	BJT実力養成問題集 読解 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				33	BJT実力養成問題集 読解 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				34	BJT実力養成問題集 読解 セクション3	ビジネス日本語力の向上

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	01アポイントをとる	相手に配慮しながらメールでアポイントをとる
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	01アポイントをとる	相手に配慮しながらメールでアポイントをとる
学 年	1学年	担当教員	古沢通子	3	02アドバイスを求める	メールでアドバイスを求めることができる
科 目 名	ビジネス文書 I (E-mai)	時間数	17単位時間	4	02アドバイスを求める	メールでアドバイスを求めることができる
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	03伝言する	伝言を書くことができる
使用テキスト名	中級からの日本語プロフィシエンシーライティング			6	03伝言する	伝言を書くことができる
補助教材	パワーポイント スライド			7	04誘う	メールでどこかに誘うことができる
				8	04誘う	メールでどこかに誘うことができる
科目概要と科目到達目標				9	05誘われる	誘われた場合の返事をかくことができる
送る相手に合わせ丁寧さを調整しながら日本のビジネスでも必要なメールの書き方を身に付ける。				10	05誘われる	誘われた場合の返事をかくことができる
				11	06謝る	メールで謝ることができる
				12	06謝る	メールで謝ることができる
				13	07慰める・一緒に喜ぶ	メールで慰めたり、喜んだりすることができる
				14	07慰める・一緒に喜ぶ	メールで慰めたり、喜んだりすることができる
授業の進め方・学習方法・課題				15	08募集する	呼びかけたり募集したりすることができる
各課のシチュエーションにあったメールを個人で作成→クラス全員で確認 ポイント確認				16	08募集する	呼びかけたり募集したりすることができる
				17	テスト	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 30% ④学習意欲 10%				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
【成績評価基準】				32		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				33		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				34		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						



## 国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	第1章 ビジネスコミュニケーション	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	第1節 日本人と働く心構え	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
科目名	ビジネスコミュニケーション I	時間数	34単位時間	3	第2節 上司・先輩との付き合い方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	第3節 同僚との付き合い方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
使用テキスト名	留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール			5	第4節 就業時間外の付き合い	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
補助教材	パワーポイント スライド			6	第5節 ウチとソトの関係	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
科目概要と科目到達目標				7	第6節 チームワーク	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
ビジネスマナーを覚え、ビジネスシーンに対応できる日本語習得 国によって違うマナーや文化を踏まえて日本のマナーを習得する ビジネスにおけるコミュニケーションスキルを高める				8	第7節 配慮のある話し方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
				9	第8節 話の進め方	ビジネスコミュニケーションスキルを高める
				10	第2章ビジネスのルール	ビジネスルールを身につける
				11	第1節 時間厳守	ビジネスルールを身につける
				12	第2節 就業時間	ビジネスルールを身につける
				13	第3節 身だしなみ	ビジネスルールを身につける
				14	第4節 あいさつ	ビジネスルールを身につける
授業の進め方・学習方法・課題				15	第5節 お辞儀	ビジネスルールを身につける
各課で事例を読み、①自分ならどう思うか、どうするかを考える→②クイズに答える →③なぜ誤解が生まれたか解説を読み理解する → ④コラムを読み日本社会の知識を得る →⑤学んだことをクラスメイトの前で説明する				16	第6節 報告・連絡・相談	ビジネスルールを身につける
				17	第7節 情報管理	ビジネスルールを身につける
				18	第8節 ハラスメント	ビジネスルールを身につける
				19	第3章 社内のマナー	社内マナーを理解する
				20	第1節 話を聞くとき	社内マナーを理解する
評価方法・成績評価基準				21	第2節 指示を受ける時	社内マナーを理解する
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22	第3節 注意を受けた時	社内マナーを理解する
【成績評価基準】				23	第4節 退社時のマナー	社内マナーを理解する
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第5節 葬儀のマナー	社内マナーを理解する
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第6節 贈答のマナー	社内マナーを理解する
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	第7節 食事のマナー	社内マナーを理解する
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第8節 お酒の席のマナー	社内マナーを理解する
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第4章社外のマナー	社外マナーを理解する
実務経験教員の経歴				29	第1節 名刺の扱い方	社外マナーを理解する
				30	第2節 仕事に役立つ雑談	社外マナーを理解する
				31	第3節 場所ごとの席次	社外マナーを理解する
				32	第4節 案内と見送り	社外マナーを理解する
				33	まとめ	
				34	テスト	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	作文の書き方について	作文の書き方を覚える
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	UNIT01 自己紹介 会話を楽しみながら自己紹介をしよう!	作文の書き方を覚える
学年	1学年	担当教員	丹田充	3	UNIT01 自己紹介 ステップ1テーマを決めよう!	作文の書き方を覚える
科目名	日本語文章表現	時間数	34単位時間	4	UNIT01 自己紹介 ステップ2自己紹介の流れと表現を勉強しよう!	作文の書き方を覚える
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	UNIT01 自己紹介 ステップ3練習しよう!	作文の書き方を覚える
使用テキスト名	中級 日本語で挑戦!スピーチ&ディスカッション			6	400字の作文を書く	作文の書き方を覚える
補助教材	PDF教材			7	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
				8	UNIT02 インタビュー 日本人の学生にインタビューしてみよう!	作文の書き方を覚える
科目概要と科目到達目標				9	UNIT02 インタビュー ステップ1テーマを決めよう!	作文の書き方を覚える
スピーチコンテスト等で賞を取得できるようになる				10	UNIT02 インタビュー ステップ2インタビューの流れと表現を勉強しよう!	作文の書き方を覚える
作文の書き方を覚え、口頭表現を見に付ける				11	UNIT02 インタビュー ステップ3練習しよう!	作文の書き方を覚える
				12	400字の作文を書く	作文の書き方を覚える
				13	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
				14	UNIT03 スピーチ(1)意見を言おう!	作文の書き方を覚える
授業の進め方・学習方法・課題				15	UNIT03 スピーチ(1)日本の習慣について不思議に思うこと	作文の書き方を覚える
テーマについて作文を書く→教員が添削する→清書をする→スピーチをする				16	400字の作文を書く	作文の書き方を覚える
				17	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
				18	UNIT03 スピーチ(1)スピーチの流れと表現を勉強しよう!	作文の書き方を覚える
				19	UNIT03 スピーチ(1)異文化体験を通して	作文の書き方を覚える
				20	800字~1000字の作文を書く	作文の書き方を覚える
評価方法・成績評価基準				21	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 30% ④学習意欲 10%				22	UNIT03 スピーチ(1)テーマについて賛成する理由、反対する理由	作文の書き方を覚える
【成績評価基準】				23	800字~1000字の作文を書く	作文の書き方を覚える
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	UNIT04スピーチ(2)行ってみたい国・町を紹介しよう!	作文の書き方を覚える
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	UNIT04スピーチ(2)紹介したい国・町について	作文の書き方を覚える
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	スピーチの原稿(800字~1000字)を書く	作文の書き方を覚える
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
				29	UNIT05ディスカッション(1)日本のいいところ・よくないところ	作文の書き方を覚える
				30	スピーチの原稿(800字~1000字)を書く	作文の書き方を覚える
				31	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
実務経験教員の経歴				32	UNIT06ディスカッション(2)美容整形 賛成?反対?	作文の書き方を覚える
				33	スピーチの原稿(800字~1000字)を書く	作文の書き方を覚える
				34	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	「商店街でみんな元気に(p88)」～考えてみよう～	商店街の置かれている状況について考え、自分の意見を伝える
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	「商店街でみんな元気に」～話し合ってみよう～	商店街の置かれている状況について考え、自分の意見を伝える
科目名	プレゼンテーション&ディスカッションⅠ	時間数	34単位時間	3	「商店街でみんな元気に」～話し合ってみよう2～	商店街の置かれている状況について考え、自分の意見を伝える
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	「街で見つけたおもしろいもの」	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
使用テキスト名	日本で学ぶ留学生のための中級日本語教科書 出会い			5	「街で見つけたおもしろいもの」～話し合ってみよう～	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
補助教材	ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 パワーポイント スライド			6	「街で見つけたおもしろいもの」～話し合ってみよう2～	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
科目概要と科目到達目標 自分の考えを日本語で伝えることができる 異なる文化・考えを持つ人のなかでも、人間関係をうまく維持することができる				7	「街で見つけたおもしろいもの」～タスク～	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
				8	「街で見つけたおもしろいもの」～発表の構成と表現を学ぶ～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
授業の進め方・学習方法・課題 教材のトピックについてグループに分かれディスカッション、プレゼンテーションを行う				9	「街で見つけたおもしろいもの」～発表の構成と表現を学ぶ～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				10	「街で見つけたおもしろいもの」～発表する～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				11	「『就活』を考える」～考えてみよう～	日本の就活について考え、自分の意見を伝える
				12	「『就活』を考える」～話し合ってみよう～	日本の就活について考え、自分の意見を伝える
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				13	「『就活』を考える」～話し合ってみよう2～	日本の就活について考え、自分の意見を伝える
				14	Case2 私に任せられたはずなのに…	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				15	Case2 私に任せられたはずなのに…	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				16	Case2 私に任せられたはずなのに…	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				17	テスト	知識定着の確認
				18	「フードマイレージ」～考えてみよう～	フードマイレージについて考え、自分の意見を伝える
				19	「フードマイレージ」～聞いてみよう～	フードマイレージについて考え、自分の意見を伝える
				20	「フードマイレージ」～話し合ってみよう～	フードマイレージについて考え、自分の意見を伝える
				21	「地域の名所を紹介する」	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				22	「地域の名所を紹介する」～発表の構成と表現を学ぶ～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				23	「地域の名所を紹介する」～発表の原稿～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				24	「地域の名所を紹介する」～発表～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				25	「地域の名所を紹介する」～発表～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				26	振り返り	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
実務経験教員の経歴				27	「子どもたちに本を読む喜びをあげたい」	読書習慣について考え、自分の意見を伝える
				28	「子どもたちに本を読む喜びをあげたい」～聞いてみよう～	読書習慣について考え、自分の意見を伝える
				29	「子どもたちに本を読む喜びをあげたい」～話し合ってみよう～	読書習慣について考え、自分の意見を伝える
				30	「子どもたちに本を読む喜びをあげたい」～話し合ってみよう2～	読書習慣について考え、自分の意見を伝える
				31	Case9 空気を読んで	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				32	Case9 空気を読んで	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				33	Case9 空気を読んで	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				34	テスト	知識定着の確認

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	世界遺産を学ぶ意義・目的について	観光資源の中の位置づけと試験対策概要
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	世界遺産(国内)について①(動画視聴含)	訪れたい世界遺産
学 年	1学年	担当教員	矢後 達夫	3	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	佐渡金山(新潟県・県庁より派遣)
科 目 名	国内観光地理Ⅱ	時間数	34単位時間	4	世界遺産(国内)について②	前週テスト振り返り
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	世界遺産(国内)について③(動画視聴含)	前週テスト振り返り
使用テキスト名	はじめて学ぶ世界遺産100			6	人類の誕生と古代文明①	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
補助教材	日本の絶景365日・旅に出たくなる地図・パワーポイント スライド ・DVD			7	人類の誕生と古代文明②	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
科目概要と科目到達目標				8	アジア世界の形成と宗教①	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
				9	アジア世界の形成と宗教②	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
世界遺産の基礎知識と世界遺産の内容を理解を深め世界遺産検定の取得を目指す。 地理検定や国家試験での必須項目でもあるため国内の世界遺産を中心に知識定着を図る。(TK1) 観光資源としての魅力度も高いため、深く探求することでツーリズムへの興味関心につなげる。 【世界遺産検定】7月・9月・12月・3月(年4回の実施だが、当科としては7月と12月とする)				10	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代①	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				11	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代②	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				12	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動①	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
				13	特別講義)遺産登録を目指す自治体の実情を知る	新潟県佐渡や奄美沖縄の取り組みを学ぶ
				14	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動②	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
				15	近代国家の成立と世界の近代化①②	近代国家遺産と現代社会の繋がりを知る
				16	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				17	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				18	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	観光資源と地域への影響度を知る
				19	世界遺産登録と地域との関わりについて①	観光資源と地域との関係性を知る
				20	世界遺産登録と地域との関わりについて②	観光資源と地域との関係性を知る
				21	世界遺産登録と地域との関わりについて③	観光資源と地域との関係性を知る
				22	世界遺産登録と地域との関わりについて④	観光資源と地域との関係性を知る
				①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない		
24	検定対策	実力判定				
25	検定対策	実力判定				
26	検定対策	実力判定				
27	世界遺産の魅力を知る①	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
28	世界遺産の魅力を知る②	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
29	世界遺産の魅力を知る③	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
30	世界遺産の魅力を知る④	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
31	世界遺産の魅力を知る⑤	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
32	世界遺産の魅力を知る⑥	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
実務経験教員の経歴				33	世界遺産の魅力を知る⑦	動画視聴等を活用して遺産を探求する
				34	世界遺産の魅力を知る⑧	動画視聴等を活用して遺産を探求する
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	バイデン政権始動	報道に対する多面的な見方と理解
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	ヘイトクライム	報道に対する多面的な見方と理解
学 年	1学年	担当教員	阿部塊地/古沢通子	3	アフガニスタン動乱	報道に対する多面的な見方と理解
科 目 名	時事日本語 I	時間数	34単位時間	4	中国の支配が強まる香港	報道に対する多面的な見方と理解
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	一帯一路	報道に対する多面的な見方と理解
使用テキスト名	2022-2023年版 日本と世界の時事キーワード			6	岸田内閣誕生	報道に対する多面的な見方と理解
補助教材	パワーポイント スライド			7	改憲の論点	報道に対する多面的な見方と理解
				8	消費税	報道に対する多面的な見方と理解
科目概要と科目到達目標				9	民間宇宙開発	報道に対する多面的な見方と理解
報道されている海外や国内のニュースついて、報道内容に留まらず、あらゆるメディアを使用して深読みすることによって、隠されている問題の背景や原因をリサーチすることにより、多面的な見方を習得する。				10	スーパーシティ構想	報道に対する多面的な見方と理解
また、就職活動時に活かせるよう一般知識としてニュース報道を学ぶ				11	新型コロナワクチン	報道に対する多面的な見方と理解
				12	GAFA(ガーファ)	報道に対する多面的な見方と理解
				13	SNSのメディア化	報道に対する多面的な見方と理解
				14	働き方改革	報道に対する多面的な見方と理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	外国人労働者	報道に対する多面的な見方と理解
個人で、あるいはグループで深読みをすることに概要をまとめる。自分の意見や感想を述べられるだけの材料を揃え、授業内で発表する。				16	子供の貧困	報道に対する多面的な見方と理解
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	テスト	評価
				18	国際ニュース④	国際問題について知る
				19	国際ニュース⑤	国際問題について考える
				20	国際ニュース⑥	国際問題について意見を述べる
評価方法・成績評価基準				21	情報・科学④	情報・科学について知る
①出席率30% ②期末テスト30% ③課題提出40%				22	情報・科学⑤	情報・科学について考える
【成績評価基準】				23	情報・科学⑥	情報・科学について述べる
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	政治・経済④	政治・経済について知る
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	政治・経済⑤	政治・経済について考える
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	政治・経済⑥	政治・経済について述べる
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	社会・環境④	社会・環境について知る
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	社会・環境⑤	社会・環境について考える
				29	社会・環境⑥	社会・環境について述べる
				30	文化・スポーツ④	文化・スポーツについて知る
				31	文化・スポーツ⑤	文化・スポーツについて考える
実務経験教員の経歴				32	文化・スポーツ⑥	文化・スポーツについて述べる
				33	まとめ	
				34	後期テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	異文化コミュニケーション～文化とは何か・世界における多様化	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
学年	1学年	担当教員	古沢通子	3	異文化コミュニケーション～自文化への気付き・人間的成長の機会	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
科目名	異文化コミュニケーション I	時間数	17単位時間	4	文化とは～文化の氷山モデル・私の常識、あなたの非常識?	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	文化とは～トータルカルチャーとサブカルチャー・文化の特徴	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
使用テキスト名	異文化理解入門(研究社)			6	文化とは～文化的側面に対する個人的側面・普遍的側面	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
補助教材	パワーポイント スライド			7	異文化適応～U字曲線の適応・W字曲線の適応	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
				8	異文化適応～らせん型曲線の適応	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
科目概要と科目到達目標				9	シミュレーション～バーンガ・シミュレーションの意義	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める				10	違いに気づく～行動・視点	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
				11	違いに気づく～環境・発想の転換	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
				12	異文化の認識～固定概念・ファイリング・ステレオタイプ	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
				13	差別を考える①②～差別の種類	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
				14	差別を考える③④⑤～差別が生まれる背景	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
授業の進め方・学習方法・課題				15	差別を考える⑥～差別との異文化理解	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
異文化理解に関する基礎知識紹介後、確認チェック、ワークを行い、レポート課題作成。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	世界の価値観～個人主義VS集団主義	国際的人材の育成、様々な人間関係の向上
				17	レポート課題作成	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 10% ④学習意欲 20%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
学年	1学年	担当教員	坂上/マークマリン/桑野/金	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
科目名	国際理解 I	時間数	68単位時間	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
補助教材	パワーポイント スライド			7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけでなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	SUCCESS P6~P11 就職活動の心構え ①なぜ就職するのか②企業が求める人材とは③身だしなみ	就職活動についての基本知識
学年	1学年	担当教員	桑野知実/矢後達夫	2	SUCCESS P12~P16就職活動の心構え①就職活動の流れ②就職活動のルールと諸注意③求職登録について	就職活動についての基本知識
科目名	就職実務 I	時間数	34単位時間	3	SUCCESS P17~P20 ①自分自身を知る②自己分析で考えるポイント	自己分析について理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	SUCCESS P21 ①自己PRの作り方	自己分析について理解と実習
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P24 ①現在までの自分史を作成しよう	自己分析について理解と実習
補助教材	パワーポイント スライド			6	SUCCESS P25 ①自己PR分の基本構成作成	自己分析について理解と実習
科目概要と科目到達目標 就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				7	SUCCESS P27~29 ①職業を知る (業種と職種を理解)	自己分析について理解と実習
				8	SUCCESS P30~P31 志望動機 ①志望動機とは何か②基本パターン	志望動機について理解と実習
				9	SUCCESS P32~P34 志望動機 ①志望動機作成ワークシート(専門職、営業)	志望動機について理解と実習
				10	SUCCESS P35~P37情報収集のポイント ①職種企業を絞り込むには	企業研究の方法を理解する
				11	①就職課の利用②就職情報サイトの利用 ③就職情報誌	企業研究の方法を理解する
				12	SUCCESS P40~P41 就活における電子メール使用の注意点 ①企業へのメールの書き方②返信の文例	企業研究の方法を理解する
				13	SUCCESS P42 facebook twitterの活用について	企業研究の方法を理解する
				14	SUCCESS P43~P44 資料請求の仕方(はがきの場合、メールで請求の場合)	企業研究の方法を理解する
				15	SUCCESS P45 お礼状の書き方①メールの場合②手紙の場合	企業研究の方法を理解する
				16	SUCCESS P46~48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	企業研究の方法を理解する
				17	SUCCESS P49~50 インターンシップのしくみ ①インターンシップ体験の活かし方	企業研究の方法を理解する
				18	SUCCESS P51~P52 作成書類 ①エントリーシートとは②エントリーシートの書き方	エントリーシート作成方法と実習
				19	SUCCESS P53 作成書類 ①エントリーシートの入手時期と内容	エントリーシート作成方法と実習
				20	SUCCESS P54~55 作成書類 ①履歴書の書き方①記入事項のポイント	履歴書作成方法と実習
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	SUCCESS P56~P57 第一回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
				22	SUCCESS P56~P57 第二回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	履歴書作成方法と実習
				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	時事問題の理解
				25	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済の基礎知識の確認	時事問題の理解
				26	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済情勢を把握する	時事問題の理解
				27	最新最強の一般常識 時事問題 産業①産業界の分析②労働に関する法律	時事問題の理解
				28	最新最強の一般常識 時事問題 金融①金融用語の把握②金融商品	時事問題の理解
				29	最新最強の一般常識 時事問題 科学技術①コンピューター用語	時事問題の理解
				30	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	SPI対策
実務経験教員の経歴				31	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
				32	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
				33	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策
				34	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策



国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	ガイダンス～コミュニケーションの必要性～	コミュニケーションの必要性を知る
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	Part1 コミュニケーション・セオリー(理論) Chapter1	コミュニケーションの理論を学ぶ
科目名	ビジネスマナー I	時間数	34単位時間	3	Chapter2 聞く力 目的に対して聞く 傾聴	傾聴を知り、身につける
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Chapter3 話す力 目的を意識する 話を組み立てる	目的を意識した話し方を身につける
使用テキスト名	実践ビジネスマナー			5	Chapter3 話す力 ことばを選び抜く 表現を伝える	ことばの使い方を意識して話す
補助教材	コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集 パワーポイント スライド			6	Part2 コミュニケーション・プラクティス(実践)Chapter1	実践を通してコミュニケーションスキルを身につける
<b>科目概要と科目到達目標</b> 社会人としてふさわしいビジネスマナーを身につける 社会人としてふさわしい心構えを身につける コミュニケーション検定初級合格  <b>授業の進め方・学習方法・課題</b> 教科書を読み合わせて、説明する。 お辞儀の仕方や来客対応などはビデオで撮影し、振り返りをする。 ロールプレイを行い、実践していく。 対面授業と遠隔授業の併用実施				7	Chapter1 来客対応 電話対応 アポイントメント・訪問・挨拶	社外とのコミュニケーションスキルを習得する
				8	Chapter1 情報共有の重要性 チーム・コミュニケーション	社内でのコミュニケーションスキルを習得する
				9	Chapter2 接客・営業 クレーム対応	クレーム対応能力を高める
				10	Chapter2 会議・取材・ヒアリング 面接	会議や面接での対応を学ぶ
				11	SNS・Web面接	時代に即したコミュニケーションのマナーを覚える
				12	問題演習①	知識定着の確認
				13	問題演習②	知識定着の確認
				14	問題演習③	知識定着の確認
				15	社会人として求められる資質、職場の基本的なマナー	仕事に取り組む心構えについて理解する
				16	あいさつの基本、社会人としてふさわしい身だしなみ	社会人としての心構えについて理解する
<b>評価方法・成績評価基準</b>  ①検定・定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%  <b>【成績評価基準】</b> A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				17	前期末テスト	
				18	指示の受け方、報告の仕方	指示の受け方、報告の仕方について理解する
				19	職場の人間関係	職場の人間関係について理解する
				20	立つ姿勢、お辞儀の仕方 椅子の立ち座り 歩き方 表情	第一印象をよくする
				21	話の仕方、話の聞き方 尊敬語、謙譲語 丁寧語	正しい言葉遣いを身につける
				22	間違えやすい敬語 敬語の練習問題	正しい言葉遣いを身につける
				23	接遇の意義と重要性 来客対応の流れ	適切な来客対応を身につける
				24	受付対応の基本用語	適切な来客対応を身につける
				25	名刺の取り扱い方(ロールプレイ)	適切な名刺の取り扱い方を身につける
				26	方向の示し方 廊下・エレベーター・応接室の案内	適切な案内の仕方を身につける
27	案内のまとめ(ロールプレイ)	適切な案内の仕方を身につける				
28	お茶の出し方(ロールプレイ)	お茶の出し方を身につける				
29	見送りの仕方(ロールプレイ)	適切な見送りの仕方を身につける				
30	電話対応の注意点	適切な電話対応の仕方を身につける				
31	電話の受け方の基本	適切な電話対応の仕方を身につける				
<b>実務経験教員の経歴</b>				32	電話対応の基本用語	適切な電話対応の仕方を身につける
				33	電話対応(ロールプレイ)	適切な電話対応の仕方を身につける
				34	後期末テスト	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第1章 通訳ガイドを取り巻く現実	通訳ガイドの現状を知る
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	日本を訪れる外国人観光客が増えている	通訳ガイドの現状を知る
学年	1学年	担当教員	古沢通子	3	通訳ガイドとは？	通訳ガイドの現状を知る
科目名	通訳概論 I	時間数	17単位時間	4	通訳ガイドが案内するお客様の種類	通訳ガイドの現状を知る
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	通訳ガイドに求められるスキル	通訳ガイドの現状を知る
使用テキスト名	通訳ガイドというおしごと			6	春と秋に仕事が偏る「季節労働者」	通訳ガイドの現状を知る
補助教材	パワーポイント スライド			7	通訳ガイドで本当に食べていけるのか？	通訳ガイドの現状を知る
				8	無資格ガイドやボランティアとの違い	通訳ガイドの現状を知る
科目概要と科目到達目標				9	第4章 ガイディング技術を磨く10のコツ	通訳ガイドの現状を知る
通訳ガイドの仕事の現状を学び、ガイド演習を通して通訳方法を身につける				10	わかりやすい説明を目指す	通訳ガイドの現状を知る
				11	日本に関する最新情報にアンテナを立てる	通訳ガイドの現状を知る
				12	意外と必要な動植物の知識	通訳ガイドの現状を知る
				13	お客様の国について調べて置く	通訳ガイドの現状を知る
				14	ストーリーのあるガイディング	通訳ガイドの現状を知る
				15	地域的な得意分野を作る	通訳ガイドの現状を知る
授業の進め方・学習方法・課題				16	通訳ガイド演習①	実地演習を行う
通訳ガイドの演習を通して通訳を実際に体験する→振り返り 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	振り返り	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
【成績評価基準】				33		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				34		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(1年制)	必須・選択	必須	1	第4章 ガインディング技術を磨く10のコツ	通訳ガイドの現状を知る
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	わかりやすい説明を目指す	通訳ガイドの現状を知る
科目名	通訳演習 I	時間数	34単位時間	3	「言い換え」「類似」「比較」を使う	通訳ガイドの現状を知る
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	日本に関する最新情報にアンテナを立てる	通訳ガイドの現状を知る
使用テキスト名	通訳ガイドというおしごと			5	日本で今売れている自動車は？	通訳ガイドの現状を知る
補助教材	パワーポイント スライド			6	ニュースに接する時間を作る	通訳ガイドの現状を知る
科目概要と科目到達目標				7	「なぜ」を大切に	通訳ガイドの現状を知る
				8	意外と必要な動植物の知識	通訳ガイドの現状を知る
通訳ガイドの仕事の現状を学び、ガイド演習を通して通訳方法を身につける				9	花が咲いていなくても見分けたい木	通訳ガイドの現状を知る
				10	外国人が気になる動物	通訳ガイドの現状を知る
				11	お客様の国について調べておく	通訳ガイドの現状を知る
				12	知っておくとガインディングに役立つ	通訳ガイドの現状を知る
				13	国によって違う日本への関心テーマ	通訳ガイドの現状を知る
				14	ストーリーのあるガインディング	通訳ガイドの現状を知る
授業の進め方・学習方法・課題				15	ワクワク感を作る	通訳ガイドの現状を知る
通訳ガイドの演習を通して通訳を実際に体験する→振り返り 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	演習①	実地演習を行う
				17	演習①振り返り	実地演習を行う
				18	車窓の風景とからめて話す	通訳ガイドの現状を知る
				19	次に訪れる場所と連動させる	通訳ガイドの現状を知る
				20	それぞれの訪問場所で何を見るのかを明確に	通訳ガイドの現状を知る
評価方法・成績評価基準				21	スルーガイド&スポットガイド	通訳ガイドの現状を知る
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	地域的な得意分野を作る	通訳ガイドの現状を知る
				23	特定の地域に詳しくなることのメリット	通訳ガイドの現状を知る
				24	アクティビティの得意分野を作る	通訳ガイドの現状を知る
				25	美術、アニメ、武道、ハイキング、登山	通訳ガイドの現状を知る
				26	点から面の知識にする	通訳ガイドの現状を知る
				27	多趣味は身を助ける	通訳ガイドの現状を知る
				28	英語以外の言語の習得	通訳ガイドの現状を知る
				29	仕事に幅が出る	通訳ガイドの現状を知る
				30	宗教、アレルギー 食への対応	通訳ガイドの現状を知る
				31	お客様のニーズに合った案内方法の研究	通訳ガイドの現状を知る
実務経験教員の経歴				32	お客様の国による大まかな傾向	通訳ガイドの現状を知る
				33	演習②	実地演習を行う
				34	演習②振り返り	実地演習を行う

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第1章 翻訳者に求められるスキルとは	翻訳者に求められるスキルを学ぶ
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	翻訳とは何か	翻訳者に求められるスキルを学ぶ
学年	1学年	担当教員	丹田充	3	翻訳に必要な5つのスキル	翻訳者に求められるスキルを学ぶ
科目名	翻訳概論 I	時間数	17単位時間	4	5つの基本スキルをどのように活用するか	翻訳者に求められるスキルを学ぶ
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	第2章 翻訳のプロセスと基本スキル1 原文分析スキル	原文分析スキルを学ぶ
使用テキスト名	翻訳スキルハンドブック			6	原文の種類を分析する	原文分析スキルを学ぶ
補助教材	パワーポイント スライド			7	原文の情報をネット検索する	原文分析スキルを学ぶ
				8	タイトルから原文の特徴を分析する	原文分析スキルを学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	5W1Hで重要な情報を押さえる	原文分析スキルを学ぶ
翻訳者に不可欠な「最適な考え方」を学ぶ				10	大文字で始まる単語には注意する	原文分析スキルを学ぶ
原文テキストを確実に理解し、翻訳の実作業に備えるためのコツやテクニックを身につける				11	原文の中身を分析する	原文分析スキルを学ぶ
				12	a,the,複数形に重要な情報が潜んでいる	原文分析スキルを学ぶ
				13	変化を示す情報に注目する	原文分析スキルを学ぶ
				14	接続しに注目する	原文分析スキルを学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	指示語の位置と意味を確認する	原文分析スキルを学ぶ
原文分析→リサーチ→ストラテジー→翻訳→校正				16	テスト	
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	振り返り	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 30% ④学習意欲 10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	第1章 翻訳者に求められるスキルとは	翻訳者に求められるスキルを身につける
学年	1学年	担当教員	古沢通子	2	翻訳とは何か	翻訳者に求められるスキルを身につける
科目名	翻訳実務演習 I	時間数	34単位時間	3	翻訳に必要な5つのスキル 演習①	翻訳者に求められるスキルを身につける
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	5つの基本スキルをどのように活用するか 演習②	翻訳者に求められるスキルを身につける
使用テキスト名	翻訳スキルハンドブック			5	第2章 翻訳のプロセスと基本スキル1 原文分析スキル	原文分析スキルを身につける
補助教材	パワーポイント スライド			6	原文の種類を分析する 演習③	原文分析スキルを身につける
				7	原文の情報をネット検索する 演習④	原文分析スキルを身につける
				8	タイトルから原文の特徴を分析する 演習⑤	原文分析スキルを身につける
科目概要と科目到達目標				9	5W1Hで重要な情報を押さえる 演習⑥	原文分析スキルを身につける
翻訳者に不可欠な「最適な考え方」を学ぶ 原文テキストを確実に理解し、翻訳の実作業に備えるためのコツやテクニックを身につける				10	大文字で始まる単語には注意する 演習⑦	原文分析スキルを身につける
				11	原文の中身を分析する 演習⑧	原文分析スキルを身につける
				12	a,the,複数形に重要な情報が潜んでいる 演習⑨	原文分析スキルを身につける
				13	変化を示す情報に注目する 演習⑩	原文分析スキルを身につける
				14	接続しに注目する 演習⑪	原文分析スキルを身につける
授業の進め方・学習方法・課題				15	指示語の位置と意味を確認する 演習⑫	原文分析スキルを身につける
原文分析→リサーチ→ストラテジー→翻訳→校正 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	テスト	
				17	振り返り	
				18	数量を表す表現を押さえる 演習⑬	原文分析スキルを身につける
				19	頻度を表す表現を押さえる 演習⑭	原文分析スキルを身につける
				20	否定表現に注目する 演習⑮	原文分析スキルを身につける
評価方法・成績評価基準				21	原文に関連する参考テキストを作業前に読む 演習⑯	原文分析スキルを身につける
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 30% ④学習意欲 10%				22	なぜ翻訳は必要とされるのか	原文分析スキルを身につける
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	第3章 翻訳のプロセスと基本スキル2 リサーチスキル	リサーチスキルを身につける
				24	リサーチスキルとは	リサーチスキルを身につける
				25	リサーチする情報の種類	リサーチスキルを身につける
				26	ショートカットでリサーチを効率化させる 演習⑰	リサーチスキルを身につける
				27	Google検索でリサーチを効率化させる その1 演習⑱	リサーチスキルを身につける
				28	Google検索でリサーチを効率化させる その2 演習⑲	リサーチスキルを身につける
				29	Google検索でリサーチを効率化させる その3 演習⑳	リサーチスキルを身につける
				30	ブラウザを使ってリサーチ作業をスピードアップする 演習㉑	リサーチスキルを身につける
				31	リサーチ作業に役立つその他のテクニック 演習㉒	リサーチスキルを身につける
実務経験教員の経歴				32	飽きずに続けられる英語の勉強法 演習㉓	リサーチスキルを身につける
				33	テスト	
				34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1. Food for Life	
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	Unit 1. Food for Life	Contrast General and Current Actions Give Details to Support Your Ideas
学年	1学年	担当教員	Mark Marin / Marcos O'Brien	3	Unit 1. Food for Life	
科目名	Speaking I	時間数	68単位時間	4	Unit 2. Express Yourself	Talk about Yourself Start a Conversation Give examples
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Unit 2. Express Yourself	
使用テキスト名	WORLD ENGLISH 2			6	Unit 2. Express Yourself	
補助教材	パワーポイント スライド			7	Unit 3. Cities	
				8	Unit 3. Cities	Make Predictions about Your City or Town Evaluate Solutions to a Problem
科目概要と科目到達目標				9	Unit 3. Cities	
英語で基本的なコミュニケーションが図れる能力を身につける。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4. The Body	
				11	Unit 4. The Body	Discuss Ways to Stay Healthy Talk about Healthy Lifestyles Explain an Idea Using Details
				12	Unit 4. The Body	
				13	Unit 5. Challenges	Talk about Facing Challenges Discuss Steps Toward a Goal Describe a Personal Challenge
				14	Unit 5. Challenges	
授業の進め方・学習方法・課題				15	Unit 5. Challenges	
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで、発表しながら基本的な形式をマスターする				16	Unit 6. Transitions	
				17	Unit 6. Transitions	Talk about Different Stages in Your Life Ask Questions to Get More Information
				18	Unit 6. Transitions	
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	Unit 7. Thing that Matter	Discuss Spending Habits Talk about Different Lifestyles Set Priorities
				20	Unit 7. Thing that Matter	
評価方法・成績評価基準				21	Unit 7. Thing that Matter	
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	Unit 8. Conservation	Talk about Consequences Describe a Situation Explain a Conservation Issue
				23	Unit 8. Conservation	
				24	Unit 8. Conservation	
【成績評価基準】				25	Unit 9. Life Now and in the Past	Discuss Life in the Past Talk about How Things Were Done in the Past Describe a Historical Wonder
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	Unit 9. Life Now and in the Past	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	Unit 9. Life Now and in the Past	
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28	Unit 10. Travel	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	Unit 10. Travel	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	Unit 10. Travel	
				31	Unit 11. Careers	Discuss Career Choices Talk about Career Planning Create a Personal Profile
実務経験教員の経歴				32	Unit 11. Careers	
				33	Unit 11. Careers	
				34	Assessment	